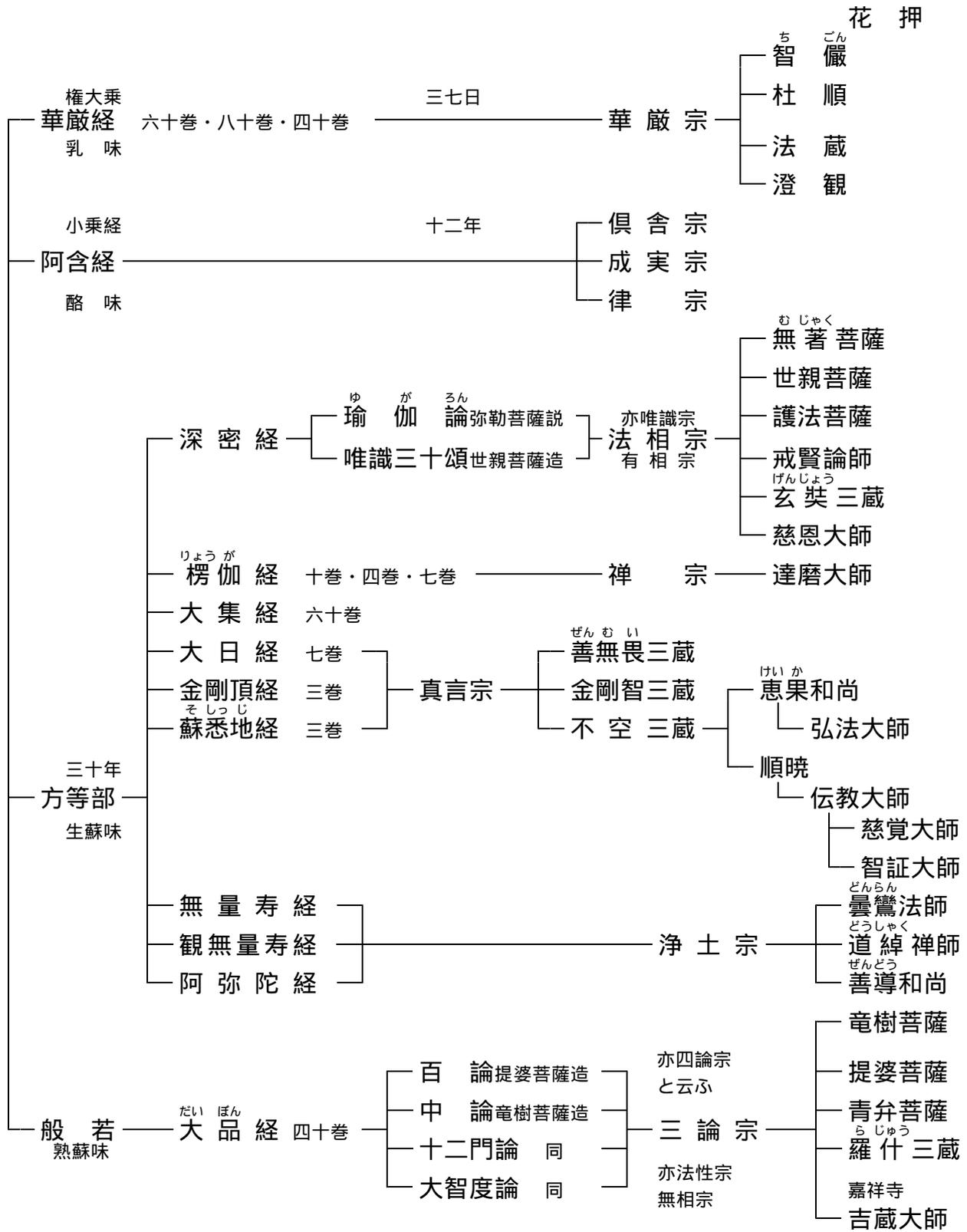


一代五時鶏図

弘安三年 五九歳



無量義經一卷 「方便力を以て四十余年未だ眞実を顯はさず」

「無量無辺不可思議阿僧祇劫を過ぐれども、終に無上菩提を成ずることを得ず。所以は何。菩提の大直道を知らざる故に、険徑を行くに留難多きが故に」
 「大直道を行くに留難無きが故に」

八箇年
 法華經八卷 醍醐味 ————— 法華宗 仏立宗 ————— 天台大師 ——— 伝教大師

「仏の所説の法に於て当に大信力を生ずべし。世尊の法は久しくして後要^{かなら}ず^{まさ}当に真実を説きたまふべし」
 「正直に方便を捨て、但無上道を説く」
 「今此の三界は皆是我が有なり。其の中の衆生は悉く是吾が子なり。而も今此の処は諸の患難多し。唯我一人のみ能く救護を為す。復教詔すと雖も而も信受せず」

一日一夜の説
 大般涅槃經
 同じく醍醐味

四十卷・或は三十六卷

- 依法不依人
- 依義不依語
- 依智不依識
- 依了義經不依了義經